

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書					
2024 年 11 月 1 日					
京 都 市 長 宛					
提出者					
住 所 京都市左京区北白川山ノ元町47					
氏 名 一般財団法人日本パプテスト連盟医療団 理事長 尼川龍一 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)					
電話番号 075-781-5191					
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。					
事業場の名称	日本パプテスト病院				
事業場の所在地	京都市左京区北白川山ノ元町47				
計画期間	2024年4月1日～2025年3月31日				
当該事業場において現に行っている事業に関する事項					
① 事業の種類	医療業				
② 事業の規模	167床				
③ 従業員数	400人				
④ 特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	<table><tr><td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">病院</td><td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">運搬 事業者</td><td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">中間処 理事業 者</td><td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">最終 処分場</td></tr></table>	病院	運搬 事業者	中間処 理事業 者	最終 処分場
病院	運搬 事業者	中間処 理事業 者	最終 処分場		

(第2面)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

理事長・病院長

総務課
(施設担当)

感染防止委員会

各部門管理者

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

	【前年度（ 年度）実績】	
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙集計用シートのとおり
排出量	t	t
①現状	(これまでに実施した取組) ・ 新人研修の実施 ・ ラウンドによる適正な分別の実施	
	【目標】	
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙集計用シートのとおり
排出量	t	t
②計画	(今後実施する予定の取組) ・ 現取り組みの継続	

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 感染性廃棄物は鋭利なものとそれ以外のものに分別し、それぞれ定められた容器に入れている。
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 溢れないよう、廃棄物容器の80%を目途に廃棄する

(第3面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

		【前年度（ 年度）実績】	
①現状	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	別紙集計用シートのとおり t	t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	別紙集計用シートのとおり t	t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

		【前年度（ 年度）実績】	
①現状	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	別紙集計用シートのとおり t	t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	別紙集計用シートのとおり t	t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組) 特になし			

(第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】	
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙集計用シートのとおり
	自ら埋立処分を行なった特別管理産業廃棄物の量	t t
	(これまでに実施した取組) 特になし	
②計画	【目標】	
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙集計用シートのとおり
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	t t
	(今後実施する予定の取組) 特になし	

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】	
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙集計用シートのとおり
	全処理委託量	t t
	優良認定処理業者への処理委託量	t t
	再生利用業者への処理委託量	t t
	認定熱回収業者への処理委託量	t t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t t
	(これまでに実施した取組) ・廃棄物の適正な保管のため、回収日を増回	

②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙集計用シートのとおり	
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・ 処理場の確認 ・ 優良認定処理業者の選定		
電子情報処理組織の使用 に関する事項	【前年度（ 年度）実績】		
	特 別 管 理 産 業 廃 棄 物 排 出 量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	t	
(今後実施する予定の取組等) ・ 2020年2月より電子マニフェスト導入済み			
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあつては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。
- 8 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 9 ※欄は記入しないこと。

特 別 管 理 産 業 廃 棄 物 処 理 計 画 書 の [集 計 用 シ ー ト]

・下表にない種類の特別管理産業廃棄物については、「特別管理産業廃棄物の種類」欄に、品目名を記載してください。
 ・行が不足すれば、適宜追加してください。

特別管理産業廃棄物の種類	① 排出量(t)		② 自ら資源再生利用した量(t)		③ 自己処理施設など又は海外投入処分した量(t)		④ 自ら中間処理した量(t)		⑤ ④のうち焼却処分を行った量(t)		⑥ ④のうち中間処理した後の焼却量(t)		⑦ ④のうち中間処理により減量した量(t)		⑧ ④のうち中間処理した後自ら焼却処分又は海外投入処分した量(t)		⑨ ④のうち焼却処分及び海外投入処分した量(t)		中間処理及び焼却処分を要した量	⑩①-②-③-④-⑤-⑥-⑦+⑧+⑨+⑩															
	量		量		量		量		量		量		量		量		量			量		量		量		量		量							
	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標		前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標		
法令で定められている種類(シロップなど)と同一品目名で表すことができないものは、適確に記載してください。			①の量のうち、中間処理せず自ら資源再生利用した量		①の量のうち、中間処理せず自ら資源再生利用した量		①の量のうち、自ら中間処理した産業廃棄物の重量(中間処理別の量)		④の量のうち、焼却処分を行った量		④の量のうち、焼却処分を行った後の量		④の量から⑦の量を差し引いた量		⑧の量のうち、自ら焼却処分又は海外投入処分した量		⑨の量のうち、自ら焼却処分及び海外投入処分した量		中間処理及び焼却処分を要した量	⑩の量のうち、焼却業者への再生利用多量(⑩-⑩①)		⑩の量のうち、再生特別処理業者である処理業者への焼却処理		⑩の量のうち、再生特別処理業者以外の焼却処分を行っている処理業者への焼却処理		⑩の量のうち、焼却して中間処理した量(⑩-⑩①)		⑩の量のうち、焼却して海外投入処分した量		⑩の量のうち、最終認定処理業者への委託処理		⑩の量と⑪の量を合計したものを(自動計算)		⑩の量と⑫の量を合計したものを(自動計算)	
炭素(引火性)												0	0						0	0											0	0	0	0	
炭酸(特管)												0	0						0	0											0	0	0	0	
廃アルカリ(特管)												0	0						0	0											0	0	0	0	
感染性廃棄物	102	98										0	0						102	98										102	98	0	0	0	0
廃PCB等												0	0						0	0											0	0	0	0	
炭石綿等												0	0						0	0											0	0	0	0	
炭渣(特定有害)												0	0						0	0											0	0	0	0	
汚泥(特定有害)												0	0						0	0											0	0	0	0	
												0	0						0	0											0	0	0	0	
												0	0						0	0											0	0	0	0	
合計	102	98	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	102	98	0	0	0	0	0	0	102	98	0	0	102	98	0	0	0	0

(注)⑩①-⑩②は取扱いが異なるため、数字が小数以下3桁まで記載は可。